

令和 7 年産 麦類生育基本調査結果

農業技術センター 稲麦研究センター

＜小麦「さとのそら」の生育概要＞

播種後 3 月中旬までの気温は平年並に近く、節間伸長開始期は平年並であった。3 月下旬は平年よりかなり高温であったが 3/29～4/5 は低温となり、その後 4 月中旬は高温となったが、出穂期は平年より 1 日遅れた。その後、4 月中下旬と 5 月中旬は平年より高かったが、5 月上旬・下旬は平年より低く、成熟期は平年並であった。

収量は 439 g/m² で平年比 93 % と少なかった。その要因としては、1 穂当り稔実粒数と千粒重は平年を上回ったが、有効穂数が 442 本/m² で平年比 90 % と少なかったことが考えられた。外観品質は良好で、検査等級 1 等であった。

1. 試験条件

- (1) 供試品種 さとのそら
- (2) 土壌条件 淡色多湿黒ボク土（標高 118 m）、水田裏作
- (3) 試験規模 1 区 54 m²、2 反復
- (4) 耕種概要 播種期：令和 6 年 11 月 14 日
播種量：100 粒/m²、播種法：畦間 60 cm、条間 12 cm、2 条寄せ畝テープシーダー
施肥量：基肥 N 量 0.6 kg/a（燐加安 486 号）
追肥 N 量 0.2 kg/a（硫安）（令和 7 年 3 月 6 日）

2. 試験結果

(1) 気象経過（播種期 11 月 14 日～成熟期 6 月 6 日）（図 1）

平均気温は、旬別で 11 月下旬から 3 月中旬まで、1 月下旬（平年差+ 2.3℃）を除き平年並に近かった。3 月下旬は平年よりかなり高温（平年差+ 3℃）であったが、3/29～4/5 は低温となった。その後、4 月中下旬と 5 月中旬は平年より高かったが、5 月上旬・下旬は平年より低かった。

降水量は、生育期間中の合計が 376 mm で平年比 106 % と多かった。月別では、12～2 月の降雨はごくわずかで平年を大きく下回ったが、3～5 月はまとまった降雨も多く平年を上回った。

日照時間は、生育期間中の合計が 1419 時間で平年比 103 % と多かったが、旬別で 2 月上旬、3 月上旬、4 月上旬、5 月下旬は平年を大きく下回った。

(2) 生育経過と収穫物調査結果（表 1、図 2、図 3、表 2）

出芽は良好であった。幼穂形成始期は 3 月 3 日（+ 2 日）で平年より遅れ、節間伸長開始期は 3 月 19 日（±0 日）で平年並であった。出穂期は 4 月 20 日（+ 1 日）で平年よりやや遅れ、成熟期は 6 月 6 日（±0 日）で平年並であった。

稈長は 78 cm（- 1.7 cm）で平年より短く、穂長は 8.6 cm（- 0.4 cm）で平年よりやや短かった。

収量は 439 g/m²（93 %）で平年より少なく、上麦重歩合は 99.0 %（±0.0）で平年並であった。収量構成要素では、1 穂当り稔実粒数は 39.1 粒/穂（114 %）で平年より多く、千粒重も 38.4 g（102 %）で平年よりやや大きかったが、上麦粒数歩合は 97.3 %（- 0.5）で平年よりやや低く、有効穂数は 442 本/m²（90 %）で平年より少なかった。

外観品質は良好で、検査等級 1 等であった。

注）（ ）内は過去 10 カ年平均値との比較

【参考：二条大麦「サチホゴールド」】（表 3）

出穂期は 4 月 7 日（±0 日）で平年並、成熟期は 5 月 21 日（- 2 日）で平年より早まった。稈長は 89 cm（- 3.7 cm）で平年より短く、穂長は 6.6 cm（+ 0.2 cm）で平年よりやや長かった。

収量は 327 g/m²（78 %）で平年より少なく、上麦重歩合は 85.9 %（±0）で平年並であった。収量構成要素では、穂数は 625 本/m²（93 %）で少なく、千粒重は 47.4 g（99 %）でやや小さかった。

外観品質は、裂皮粒、未熟粒が発生したが、検査等級 2 等（ビール大麦）で平年より優れた。

注）（ ）内は過去 10 カ年平均値との比較

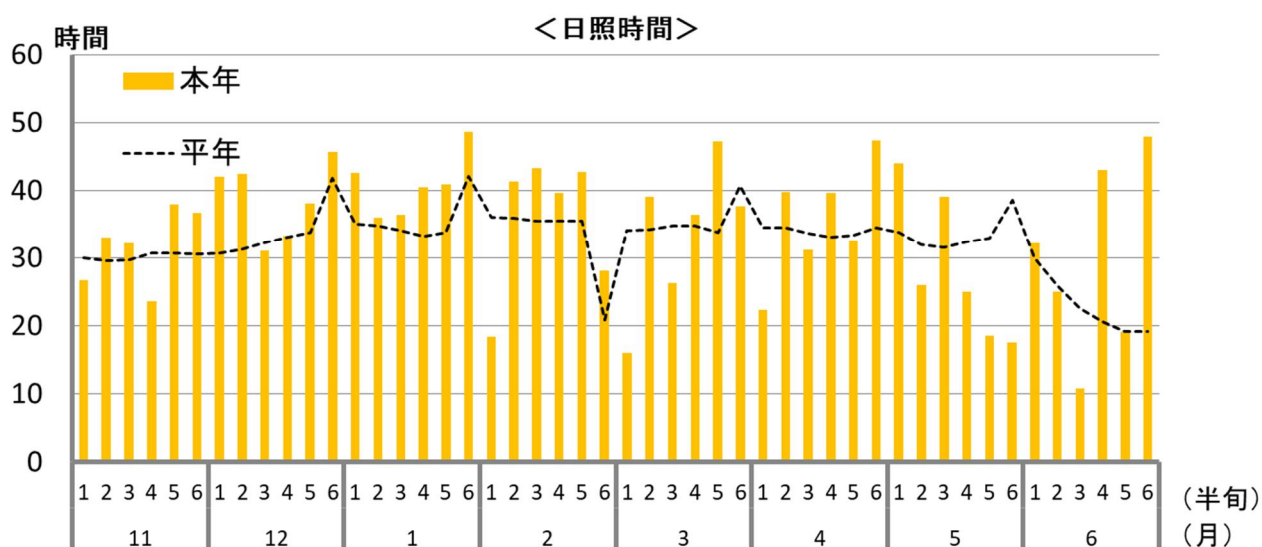
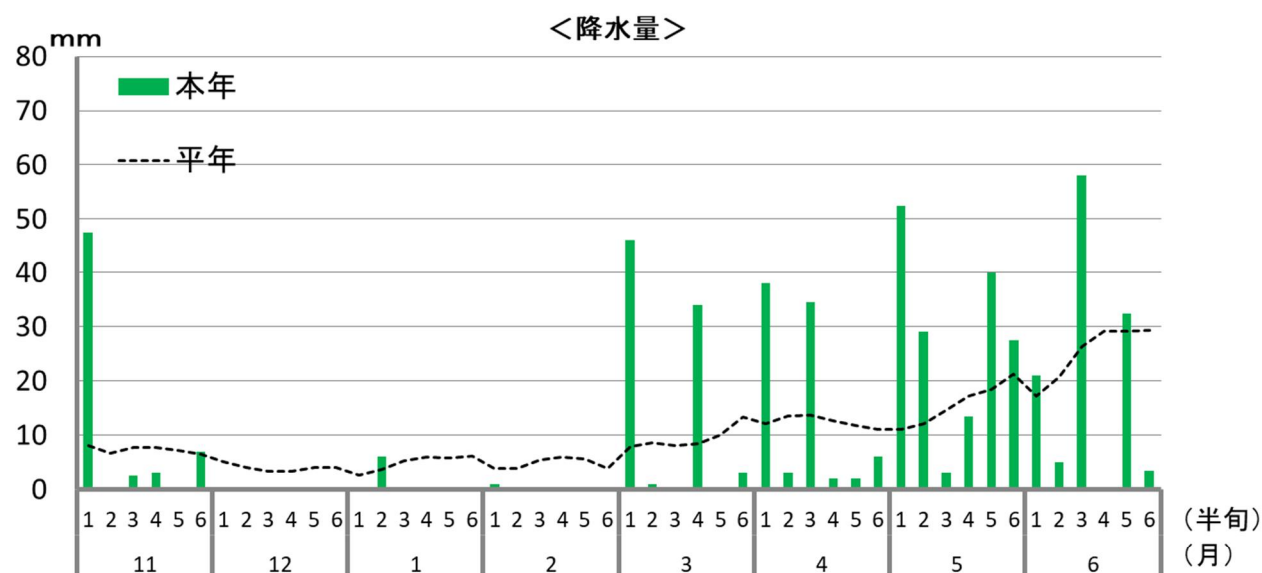
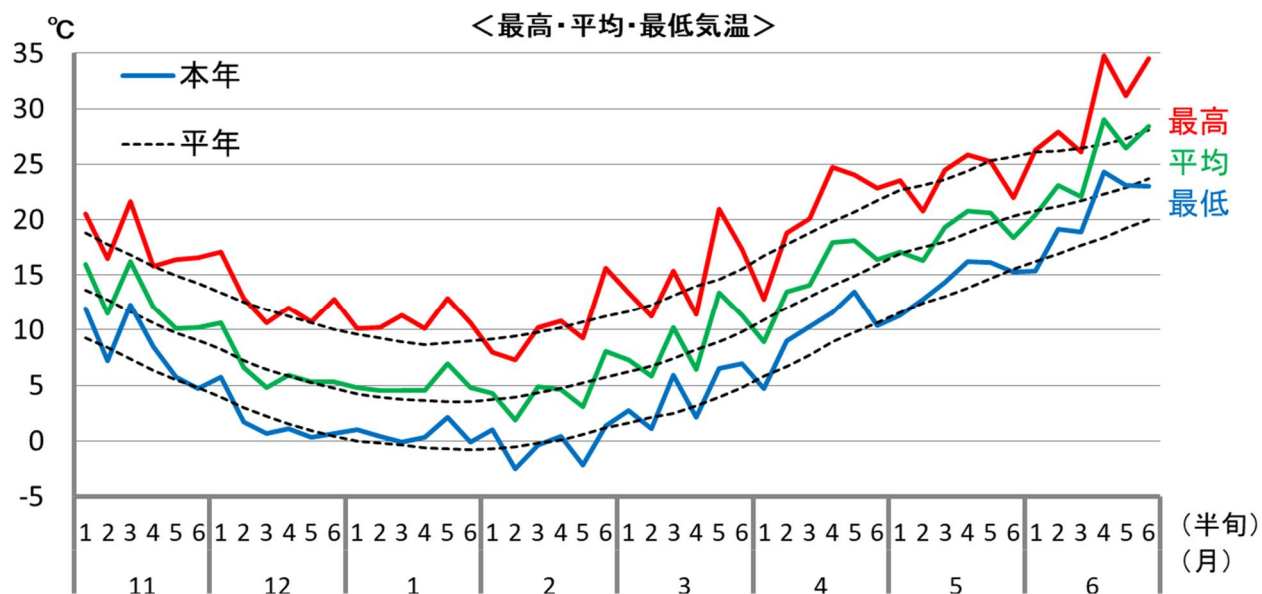


図1 気象経過(令和6年11月1半旬～令和7年6月6半旬)

注) 前橋地方気象台のデータ。平年値は1991年～2020年。

表 1 令和 7 年産小麦生育基本調査結果概要(前年・平均比較)

項 目		本年	前年 比・差	平均 比・差
生育 状 況	出芽日数 (日)	11	- 1	- 0.3
	幼穂形成始期 (月/日)	3/3	+ 11	+ 2
	節間伸長開始期 (月/日)	3/19	+ 5	0
	出 穂 期 (月/日)	4/20	+ 4	+ 1
	成 熟 期 (月/日)	6/6	+ 5	0
	稈 長 (cm)	78	- 8.4	- 1.7
	穂 長 (cm)	8.6	- 0.7	- 0.4
収 量 構 成 要 素	有 効 穂 数 (本/㎡)	442	78%	90%
	1穂当り稔実粒数 (粒)	39.1	115%	114%
	上麦粒数歩合 (%)	97.3	-0.6	-0.5
	上麦千粒重 (g)	38.4	109%	102%
	上 麦 重 (g/㎡)	439	86%	93%
品質	検 査 等 級 (等)	1	0	-0.2

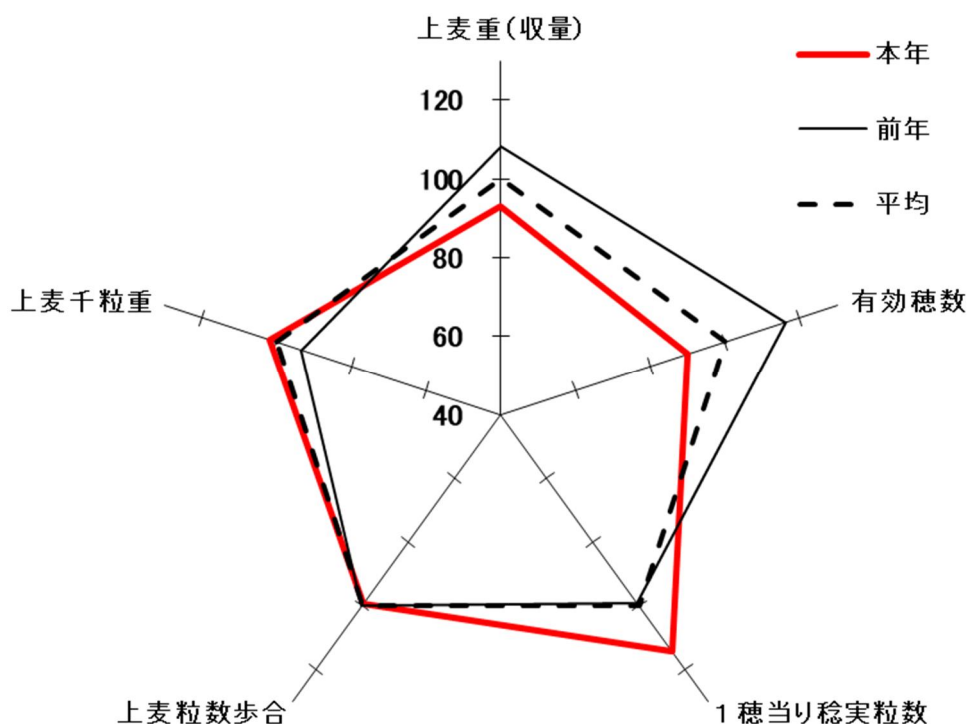


図 2 収量構成要素(前年・平均比較)

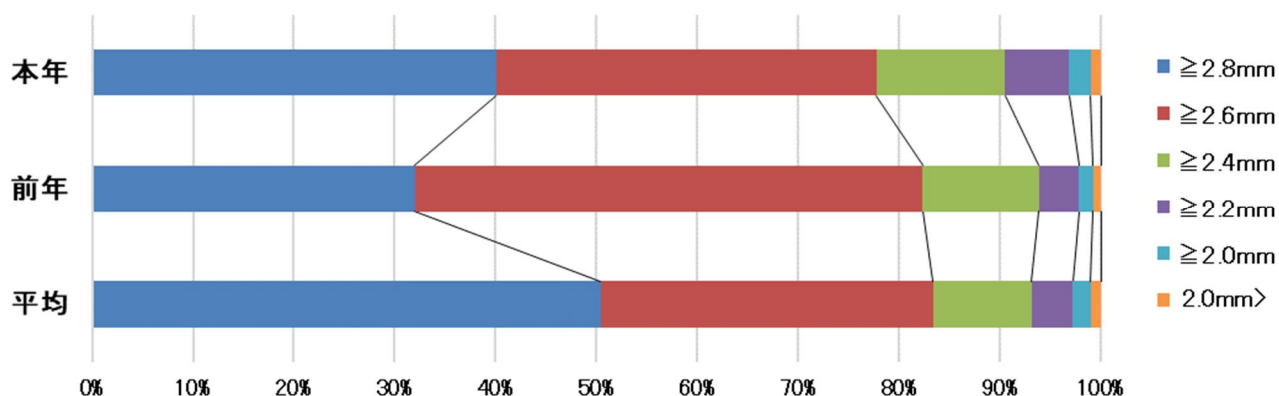


図 3 粒厚分布(前年・平均比較)

表 2 令和 7 年産小麦生育基本調査結果

品 種 名		さとのそら		
試 験 圃		水 田		
比 較 年 次		本 年	前 年	平均(10ヶ年)※
播 種 日		11/14	11/15	11/15
発 芽	出 芽 日 数 (日)	11	12	11.3
	発 芽 の 良 否	良	良	良
生 育 状 況	12月20日調査 草 丈 (cm)	8.3	8.5	8.3
	偽茎長 (cm)	0.3	0.3	0.4
	m ² 当り茎数(本)	123	116	118
	1月20日調査 草 丈 (cm)	8.2	9.4	8.4
	偽茎長 (cm)	0.6	0.4	0.9
	m ² 当り茎数(本)	362	360	319
	2月10日調査 草 丈 (cm)	8.4	10.9	8.9
	偽茎長 (cm)	1.3	1.8	1.8
	m ² 当り茎数(本)	617	673	525
	3月 1日調査 草 丈 (cm)	11.8	20.0	13.4
	偽茎長 (cm)	2.1	4.4	3.3
	m ² 当り茎数(本)	828	1061	924
	3月20日調査 草 丈 (cm)	22.0	35.4	28.1
	偽茎長 (cm)	8.2	13.7	12.4
	m ² 当り茎数(本)	766	949	971
	4月10日調査 草 丈 (cm)	60.5	63.6	60.8
	m ² 当り茎数(本)	626	660	688
	幼穂形成始期 (月/日)	3/3	2/20	3/1
	偽茎長 (cm)	2.4	3.4	4.1
収 量 構 成 要 素	節間伸長開始期 ① (月/日)	3/19	3/14	3/19
	偽茎長 (cm)	6.5	7.9	8.2
	出 穂 期 ② (月/日)	4/20	4/16	4/19
	穂 揃 日 数 (日)	2	2	3
	①～②までの日数 (日)	32	33	31
	成 熟 期 (月/日)	6/6	6/1	6/6
	登 熟 日 数 (日)	47	46	48
	稈 長 (cm)	78	87	80
	穂 長 (cm)	8.6	9.3	9.0
	全 穂 数 (本/m ²)	443	578	496
収 量	有 効 穂 数 (本/m ²)	442	570	491
	有効穂数歩合 (%)	99.8	98.6	99.1
	1穂当り稈実粒数 (粒)	39.1	33.9	34.2
	上麦粒数歩合 (%)	97.3	97.9	97.8
収 量	上麦千粒重 (g)	38.4	35.2	37.7
	m ² 当り上麦重 (g)	439	512	472
	1穂当り上麦重 (g)	0.99	0.90	0.97
	上麦重歩合 (%)	99.0	99.2	99.0
品 質	原粒蛋白質含有率 (%)	8.5	8.2	9.2
	容積重 (g/L)	797	776	799
	フォーリングナンバー値	366	358	384
	灰分含有率 (%)	1.53	1.44	1.57
	検 査 等 級	1	1	1.2
被 害 発 生 状 況		-	-	-

※ 上麦:2.0mm以上とし、品質については上麦を調査。m²当り上麦重、上麦千粒重…水分12.5%換算

※ 原粒蛋白質含有率:Inframatic 9500 (Perten)による原粒の近赤外分析。(水分13.5%換算)

※ 原粒灰分:550℃燃焼による灰分含有率(水分13.5%換算)

※ 偽茎長は令和5～6年産の2ヶ年平均

表 3 令和 7 年産二条大麦生育基本調査結果

品 種 名		サチホゴールド		
試 験 圃		水 田		
比 較 年 次		本 年	前 年	平 均※
播 種 日		11/14	11/15	11/15
発芽	出 芽 日 数(日)	10	12	10.4
	発 芽 の 良 否	良	良	良
生育 状 況	12月20日調査 草 丈 (cm)	10.5	9.4	8.7
	偽茎長 (cm)	0.5	0.5	0.5
	m ² 当り茎数(本)	308	277	207
	1月20日調査 草 丈 (cm)	11.2	13.2	12.1
	偽茎長 (cm)	1.0	0.9	1.1
	m ² 当り茎数(本)	693	662	663
	2月20日調査 草 丈 (cm)	18.2	23.9	19.1
	偽茎長 (cm)	3.5	6.3	5.2
	m ² 当り茎数(本)	943	1163	964
	3月20日調査 草 丈 (cm)	33.7	44.6	48.7
	m ² 当り茎数(本)	778	753	829
	幼穂形成始期 (月/日)	1/30	1/29	2/4
	偽茎長 (cm)	2.1	2.5	2.4
	節間伸長開始期① (月/日)	3/3	2/22	3/5
	偽茎長 (cm)	5.1	6.9	7.3
	出 穂 期 ② (月/日)	4/7	4/5	4/7
	①～②までの日数 (日)	35	42	32
	成 熟 期 (月/日)	5/21	5/19	5/23
収量 構 成 要 素	登 熟 日 数 (日)	44	44	46
	稈 長 (cm)	89	86	93
	穂 長 (cm)	6.6	6.1	6.4
	全 穂 数 (本/m ²)	625	567	669
	1穂当り稈実粒数 (粒)	22.1	23.6	23.4
収 量	稈実粒数歩合 (%)	98.6	98.8	96.9
	上麦千粒重 (g)	47.4	45.5	47.7
	上麦重歩合 (%)	85.9	82.0	85.9
	m ² 当り上麦重 (g)	327	315	417
	1穂当り収量 (g)	0.52	0.56	0.63
品 質	原粒蛋白質含有率 (%)	9.1	9.6	10.2
	容 積 重 (g/L)	718	727	736
	検査等級 ビール大麦 大粒大麦	2 -	2 -	等外上 -
被 害 発 生 状 況		裂皮粒、未熟粒	退色粒、裂皮粒、未熟粒	-

※ 上麦: 2.5mm以上とし、品質については上麦を調査。m²当り上麦重、上麦千粒重・水分12.5%換算

※ 原粒蛋白質含有率: Inframatic 9500 (Pertent)による原粒の近赤外分析。(無水換算)

※ 幼穂形成始期までのデータおよび一穂当り稈実粒数、稈実粒数歩合はH30～R6年産の7ヶ年平均、偽茎長はR5～R6年産の2ヶ年平均、それ以外はH27～R6年産の10ヶ年平均。